



「こんにちは 市長です」

12月1日号

「2年連続で受賞させていただきました。最近の白鵬（大相撲）ですら3連覇は難しいですから太田の3連覇はないと思いますが、賞に値する作品を残せるよう努力していきます」と謝辞を結んだ。第60回BCS賞の授賞式が帝国ホテルで開かれた。その年の出来が良い建築物に日本建設業連合会が賞を与えているのだが、歴史のある結構権威のある賞なんです。今年度は79件の応募があって、その中から15の作品が選ばれた。太田市は去年の「美術館・図書館」に続いて「市民会館」が選ばれたということ、おまけに大勢の参加者の前で「謝辞をやれ」ということになってしゃべらせていただいた。気分は良かった。赤羽国交大臣も来賓として来られていた。

10月末「太田市建築ツアー」という催しがあった。市内外の人たちに太田の公共建築物を見てもらおう、というのである。内側にいると自分たちの使っている建物がそんなに価値のあるものなのか気付かない。しかし、客観的に見ると「いや、なかなか優れものじゃないか」というのである。各地の建築家が太田に来て、見ている。BCS賞の2つの施設をはじめ、例えば、新国立競技場の設計者、隈研吾さんの史跡金山城跡ガイダンス施設、今村雅樹さんの休泊行政センター・沢野中央小学校、長谷川逸子さんの太田行政センターと集合住宅・群馬大学太田キャンパス、シーラカンスのGKA初等部・今建設中の北の杜(もり)学園など、デザインや機能だけではなく周辺環境や街並みへの配慮、新しい試みへのチャレンジした作品がある。他人に言われて「そっか、自慢していいんだ」と気付かされる。もっとすごいのは地元の企業が全て手掛けていることだ。

帝国ホテルはさすがに四ツ星である。立食のランチがおまけであったが、5千円かな？会費は無料だった。